

(7) 研究の全体構想

【教 育 目 標】

夢に向かって共に高まる子どもの育成～輝く瞳 明るい笑顔 強い心～

子どもの姿

○かしこく 輝く瞳で 進んで学ぶ子ども
○やさしく 明るい笑顔で 心豊かな子ども
○たくましく 強い心をもち 努力する子ども

【研 究 主 題】

主体的に学び、考えを深める子どもの育成

～他者との関わりを通して、自己の変容を自覚し、学びを深める子どもの姿を目指して～

・学習指導要領
・中央地区学校教育の重点
・潟上市学校教育の重点

【目 指 す 子 ども】

○自分の考えをもち、問題解決に向けて学び合う子ども
○自己の変容を自覚し、次の学びに生かそうとする子ども

【研 究 の 仮 説】

学びを共有する活動を取り入れ、子ども自身が変容を自覚するための手立てを工夫することにより、主体的に学び、考えを深める子どもが育つのではないかと。

【昨年度の課題】
・自力解決に向けて、考えをもてるようにするための手立ての工夫
・研究主題に迫る授業展開の工夫
・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた「分かる・できる」授業づくり

【研 究 の 重 点 と 内 容】

（重点１）伝え合う目的を明確にした話し合い活動

- ・目的意識・相手意識をもたせた授業を展開する。
- ・話し手の意図をくみ取るために、聞き手が復唱したり質問したりする場を設定する。

（重点２）学びや変容を自覚し、次の学びにつなげる授業づくり

- ・学びや変容の自覚化を促す。
- ・自分の考えを再考する（付け足す、取り入れる、見直す、自信をもつ）時間を確保する。
- ・子どものつまずきや伸びを捉え、指導の手立てを見直す。

【学 び を 支 え る 基 盤】

学級経営 ◇安心して話ができる温かい人間関係づくり

◇基本的な学習習慣

- ・「大豊の子ども 学習のきまり」「学習のあたりまえ」の実践
- ・「書く力・聞く力・話す力」の活用
- ・「羽城かがやきプラン」の活用
- ・月別学習目標の実践
- ・ノートの書き方の統一

◇授業

- ・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた「分かる・できる」授業づくり
- ・個の力を伸ばす指導方法の工夫
- ・主体的な対話による、学び合いの充実
- ・言語活動の充実を図る「用語・話形」の提示

◇日常

- ・話す力、聞く力を鍛える場の設定
- ・読書の励行、図書室の計画的な利用
- ・国語辞典、地図帳などの日常的な活用
- ・家庭学習の推奨

◇ICTの効果的な活用

- ・一人一台端末の活用（自分の考えを可視化、思考ツールで考えを明確化、考えの共有化）
- ・基本的な操作の習得
- ・プログラミング的思考を身に付けるための計画的な活用

◇学習環境

- ・教室掲示、板書計画、等

【検 証 の 指 標】

- 意識調査の分析
- 授業中の発言やノート記述
- 授業参加態度の観察記録
- 自己評価や相互評価の活用
- 単元評価問題などの分析
- ICT機器の活用
- 全国学力・学習状況調査及び秋田県学習状況調査の通過率